

対象類型

ものづくり技術

業 種

職別工事業

事業計画名

工場内完結、最新鋭溶接設備の導入による 現場工程ゼロ化を実現する革新的生産性向上

株式会社イマハシ



最新鋭となるトムテック製の6点スタラップ溶接機



本設備により工場内で溶接が完結するようになった



精度の高さを誇るイマハシの鉄筋技術。若手の育成にも余念がない



今橋 和俊 代表取締役

会社名 株式会社イマハシ
代表者 代表取締役 今橋 和俊
所在地 〒879-1504 大分県速見郡日出町大字大神9535番地の25
TEL.0977-72-8366 FAX. 0977-72-0135
URL <http://www.imahashi.co.jp/>
事業内容 鉄筋工事請負業、土木建築工事用鉄筋加工、SG溶接継手加工・販売
資本金 1,000万円
設立 1967年
社員数 95名



background
背景・経緯

地場鉄筋業界のリーディングカンパニーとしての地位を確保

日本再興戦略の一環として打ち出されたアベノミクス政策は、新規建設や公共事業、老朽化した建築物の更新等、官民あげての建設需要を産み出した。これに東日本大震災の復興事業やオリンピック関連事業が加わり、建設業界はかつてない好景気を迎えた。そして、これら建設工事を支える重要な役割を担っているのが鉄筋工事であり、いわゆる鷹、型枠大工とならぶ“躯体三役”のひとつとして、鉄筋工の存在が重宝されている。

日出町に本社を構える株式会社イマハシは、県内随一の工事量を誇る鉄筋工事会社。1967年の創業以来、卓抜した技術と丁寧な仕事ぶりが評価され、大手から地場に至るまでゼネコン各社からの信頼を獲得しながら、その実績を積み上げてきた。オアシスひろば21、大分県立美術館、東九州自動車道から学校、ホテル、マンション、各種商業施設等に至るまで、同社の技術なくしては語られない建築物は県内に多数存在する。

常に県内業界をリードしてきた同社ではあるが、課題となっているのが人材育成だ。建設業界に限らず国内では人手不足が慢性化しているが、個々の職人の質に大きく左右される業務だけに、有能な職人の育成は必須事項。熟練工の高齢化も進んでいるだけに、高いレベルの品質を保持することは急務といえる。

同社では、この問題を解決する一助として、設備投資を適宜行ってきた。工程の機械化は品質、精度、安定性の向上に結びつき、ひいては生産性が高まり、納期短縮にも資する。さらには技術の高度化が可能になり、新規顧客を開拓するうえでも優位に立てる。適正な設備投資が同社の業績に大きく貢献してきたのは、これまでの工事実績を見れば明らかである。



details
事業内容

工場と現場、両方で行っていた溶接工程を一本化

本事業は「溶接工程の集約化・自動化」を目的に取り組んだものだ。

従来は工場内での溶接に加え、現場での組み立て時にも再び溶接工程が発生していた。しかし工場内で行う溶接は機械化されているものの、現場での溶接は手作業になるため個々の職人の熟練度によって精度が左右され、安全性を確保するうえでも懸念があった。

本事業により、従来使用していたアロー溶接機をスタラップ溶接機に変更することで、溶接工程は工場内だけに集約化が可能になってくる。現場での作業がなくなるため、組み立て完了までの時間短縮にもつながり、自動化で品質のムラやバラツキも解消されるのである。



achievement
成果

納期短縮化、高精度の確保に大きな成果をあげる

新規設備の導入により、鉄筋の溶接工程は工場内だけで完結できるようになった。現場では組み立て作業に専念するだけとなり、飛躍的に生産性を向上できた。因みに今回の新設備導入は、全ての工場を屋根付きにしてサビ対策を講じてきた同社だからこそ可能となった事業。つまり他社との差別化も実現できたことになる。

導入による具体的な成果をあげると、これまで5日かかっていた作業を3日にまで短縮でき、納期を4割も短縮することに成功した。さらに現場職人の手作業に頼っていた品質の精度も、全面機械化での溶接作業となったので、誤差の範囲を±10%から±1%にまで縮小することに成功し、製品の均一化につながった。



future
展望

業界の未来を握る新たなステージへ

溶接工程を工場内に集約・自動化したことで、革新的な生産性向上が実現でき、慢性的な労働力不足の対応にも効果を発揮した。

冒頭に記したように、活況を呈してきた建設業界であるが、コロナ禍を機に国内景気の先行きに不安感が漂ってきたことは否めない。現時点では安定した受注量を確保している同社だが、持ち前の強みを活かしながら、新たな市場を開拓していくことが求められる。

令和元年に2代目社長へ就任したばかりの、今橋和俊氏の手腕に期待が寄せられる。

Point

溶接工程の効率化により、革新的な生産性向上を実現。
本件を競争力強化と労働力不足の解消につなげ、
盤石な体制で新時代の戦略を練る。